

市長と語る会(令和2年7月28日 四谷文化センター講堂)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
1	<p>台風接近時は、防災行政無線が聞こえなかった。また、市ホームページも閲覧できなかったため、市からの情報を入手する手段が限られた。早めに情報を発信してほしい。</p> <p>地震と異なり、台風は事前に接近することが予測できるため、事前に避難することが重要だと感じた。</p>	<p>台風接近時における鉄道の計画運休は、今回が初めての経験でした。本市といたしましても、災害対策本部を立ち上げてから対応を検討するのではなく、事前に交通インフラが停止することを前提に、数日前から避難の呼びかけ等を行ってまいりたい。</p> <p>ホームページが閲覧できなくなった事象につきましては、東京都内の地方公共団体のインターネット回線が、一旦、全ての通信を都に集約しているため、通信量の増加に耐えきれなかったことが原因でした。本市のみならず、東京都内の全ての自治体が同様の状況になりましたが、既に対策を施しましたので、今回のようなことは無いと思います。</p>	防災危機管理課 広報課
2	<p>自主防災連絡会のメンバーのように最後まで住民の避難を呼びかける人は、ハケ上まで避難する十分な時間を確保できない場合もあるため、このような場合については、ハケ下の小中学校に避難することを容認してほしい。</p>	<p>命を守るための最終手段としては、やはり近くの高い場所になると思います。しかしながら、停電の発生や、そこに大勢の人が避難され、何らかの理由で救助が必要になった場合であっても、すぐに救助に向かえない可能性があるため、ハケ下の学校を避難所として開設することは想定しておりません。</p>	防災危機管理課
3	<p>集団生活が困難な方に対する対応策を検討してほしい。</p>	<p>東日本台風の経験を踏まえて、今後は、障害をお持ちの方や、ご高齢で介護が必要な方などを受け入れるための避難所や、車での避難を受け付ける避難所など避難所の性格を場所によって変えていこうと考えております。</p>	防災危機管理課
4	<p>普段の防災訓練は主に地震を想定して実施していた。そのため、東日本台風の際に、近くの学校に避難すれば良いと考える方が多かったと思う。</p> <p>ハザードマップでは、12時間で水が引くと予想しています。長く考えても24時間耐えられるだけの食糧等を確保しておけば、垂直避難も対応可能だと思う。</p>	<p>確かにハザードマップでは12時間で水が引くと予想しています。しかし、ハケ下の学校の3階、4階に避難することで命は助かったとしても、停電の発生や、そこに大勢の人が避難され、何らかの理由で救助が必要になった場合であっても、すぐに救助に向かえない可能性があります。</p> <p>そのため、ハケ下の学校を最初から避難所として開設することは想定しておりません。</p>	防災危機管理課
5	<p>東日本台風の際は、市役所と連絡を取ることが難しかった。自主防災連絡会が市役所と連絡が取れる手段を検討してほしい。</p>	<p>同様の意見を多くの方からいただいています。水害のリスクは毎年ありますので、情報伝達手段の強化について、検討してまいります。</p>	防災危機管理課

市長と語る会(令和2年7月28日 四谷文化センター講堂)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
6	東日本台風の際は、ハケ下の学校は一律で避難所として開設しなかったが、都立府中西高校は浸水エリアではないため、避難所として開設してほしい。	地震を想定した場合については、ハケ下の都立高校とも協定を締結しているため、避難所として開設できますが、水害時は他の小中学校と同様、孤立する可能性が高いため、避難所として開設することは想定しておりません。	防災危機管理課
7	近隣の民間大型商業施設を水害時の一時避難所として活用することを、協議しています。垂直避難は認めていないことは承知しておりますが、ハケ上まで行くことが困難な方がいらっしゃるため、認めていただきたい。	地域の中で協定を結ぶことはお互いを助け合い、災害を未然に防ぐ意味で良い取組だと思えます。市が助言できることもあると思えますのでお申し付けください。	防災危機管理課
8	都の施設になるが、北多摩第二処理場は高層の建物のため、避難所を開設できないか検討していただきたい。	小柳町にも同様の施設があるが、水害時の考え方を都に確認いたします。 ※後日、東京都に確認したところ、水害時の避難所としては想定していないとの回答でした。	防災危機管理課
9	ペットを連れて避難する際、大きなゲージを持って避難することは難しいため、市がリサイクルプラザで回収したゲージを避難所となる施設で保管しておいてほしい。また、ペット別に部屋を分けていただきたい。	避難される方の中には動物が苦手が方もいらっしゃるため、去年は、ペットを避難所の外に置いていただかざるを得ない状況でした。今後は、ペットが避難するスペースを確保する方向で考えています。ゲージについては、市で用意できれば良いのですが、保管場所などの問題もありますので、難しいと思えます。	防災危機管理課
10	普段からゲージの中で過ごせるようペットを訓練したり、予防接種の実績を把握しておくよう周知に努めてほしい。	予防接種やペットのしつけについては日頃から行っていただくよう周知してまいります。	防災危機管理課 健康推進課

市長と語る会(令和2年7月28日 四谷文化センター講堂)における意見及び市長の回答

No	意見	回答	担当
11	場所によっては、垂直避難できる施設を作っている自治体があります。府中市にもそのような計画はあるのでしょうか。	今後、垂直避難が可能な施設を新たに整備することは考えにくいと思います。	防災危機管理課
12	多摩市のように多摩川が決壊した際に想定される水位を視覚的に認識できるよう、電柱に表示していただきたい。	多摩市の電柱のことは承知しています。また、宮城県多賀城市とは交流があり、実際に訪れた際にも同様の電柱がありました。このご要望は、実施可能だと思いますので、来年度、予算措置してまいりたいと思います。	防災危機管理課
13	被災家財の受入体制について、検討していただきたい。	他自治体の事例を見ていると想像以上の量の家財を処分する必要があり、大変難しい課題ですが、想定しなければならない課題だと考えております。	防災危機管理課 ごみ減量推進課
14	年に数回、市内全ての自主防災連絡会と情報共有する場を設定してほしい。	自主防災連絡会の形式になってから3年が経過しましたが、今後は、自主防災連絡会の横の連携が必要だと思います。この市長と語る会をきっかけに、次の段階に進められるよう取り組んでまいりたい。	防災危機管理課